

この添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

※※2015年3月改訂（第5版）

※2012年5月改訂（第4版）

承認番号 16200AMY00279000

品番 **20 701**

培養同定・一般細菌キット

ラピッド20

(RapiD 20 E)

腸内細菌科の迅速同定用

【全般的な注意】

- 本品は、体外診断用であり診断以外の目的に使用しないで下さい。
- 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
- 添付文書以外での使用方法については保証致しません。
- 使用する機器の添付文書等をよく読んでから使用して下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

＜構成試薬の名称＞

基質（ラピッド20）の成分

	基質	略号
(1)	o-ニトロフェニル-β-D-ガラクトピラノシド	ONPG
(2)	塩酸リジン	LDC
(3)	L-オルニチン	ODC
(4)	尿素	URE
(5)	クエン酸ナトリウム	CIT
(6)	L-フェニルアラニン	PPA
(7)	マロン酸ナトリウム	MNT
(8)	エスクリン	ESC
(9)	L-アラビノース	ARA
(10)	D-キシロース	XYL
(11)	アドニット	ADO
(12)	L-ラムノース	RHA
(13)	D-セロビオース	CEL
(14)	D-メリビオース	MEL
(15)	白糖	SAC

(16)	D-トレハロース	TRE
(17)	D-ラフィノース	RAF
(18)	ブドウ糖	GLU
(19)	L-トリプトファン	IND
(20)	ピルビン酸ナトリウム	VP

<付属品>

ー培養容器	25組
ー成績記入用紙	25枚

※【使用目的】

腸内細菌の同定（病原性細菌感染の診断補助等）

【測定原理】

<原理>

ラピッド20は、乾燥基質を含む20個のマイクロチューブで構成されています。調製された菌液を接種し、乾燥基質を溶解します。培養中の代謝により色が変わります。色の変化は自発的または添加試薬を加えることにより起こります。反応は判定表に従って判定し、同定は本システム用の同定ソフトウェアを使用して行います。

<特徴>

ラピッド20は、腸内細菌科の同定を4時間で行なう標準化したキットであり、迅速な解析及び高い識別に適した20種類の生化学試験と専用データベースで構成されています。本同定システムの同定可能菌種は、本添付文書の最後にある“陽性率表”に示されています。

【操作上の注意】

- ラピッド20は、腸内細菌科の同定のみを行います。オキシダーゼ陽性菌や発酵性及び酸化性の両方の性質を示す一部の菌（*Aeromonas*、*Vibrio*）を同定することができます。通常はオキシダーゼ陰性、グラム陰性桿菌の試験に用いて下さい。
- 病原性大腸菌、*Salmonella*及び*Shigella*が疑われる場合は、血清型別による確認試験を実施する必要があります。
- ラピッド20は、4～4 1/2時間で腸内細菌科を同定するキットです。培養時間を厳守して下さい。
- 本添付文書で示された方法を変更または修正（菌液濃度の不足、チューブへの菌液充填量の不足または過剰など）で試験された場合は、偽陰性が生じ同定結果に影響することがあります。
- 単一分離菌から得られた純培養菌のみを使用して下さい。
- 添加試薬の品質に注意して下さい。使用期限及び保存状態を確認し、アンプル中の試薬は開封後1カ月以内のものを使用して下さい。
- 試験に使用する菌株は、通常の細菌検査法に従って適切な培地で分離培養する必要があります。

- 検体（採取及び前処理）
臨床材料や他の検体を直接使用してラビット20で試験することはできません。試験に使用する菌株は、通常の細菌検査法に従って、ラクトースを含む適切な培地（BCP寒天培地、マッコンキー寒天培地など）で分離培養する必要があります。

【用法・用量（操作方法）】

＜試薬の調製方法＞

- JAMES試薬は、粉末の有効成分を含んでいる滴ビンに乾燥ピペットを用いてアンプル中の溶媒を移し入れ、振とうして下さい。5～10分間放置して完全に溶解させて下さい。
- VP1、VP2試薬はアンプルを転倒し垂直に保ち、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。または、乾燥ピペットを用いて、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。
- 0.85% 滅菌生理食塩液、VP2試薬およびJAMES試薬は2～8℃で、VP1試薬は2～30℃で保存して下さい。添加試薬は開封後、1ヶ月以内に使用して下さい。滴ビンに移し替えた試薬は、移し替えた日付を滴ビンに記入し、1ヶ月以内に使用して下さい。使用期限は、外箱の☒マークに記載してあります。
- オキシダーゼ試薬及びJAMES試薬は非常に光に過敏なので、アルミホイルに包んで冷暗所に保存し使用時にのみ冷暗所から取り出し、すぐに戻して下さい。長時間、試薬を試験室内に放置しないで下さい。

＜必要な器具・器材・試料等＞

本品を使用の際に必要な試薬及び器具

試薬

- －0.85% 滅菌生理食塩液 2 mL（品番20070）
- －添加試薬：VP1+2試薬（品番70422）
JAMES試薬（品番70542）
- －オキシダーゼ試薬（品番55635）
- －ミネラルオイル（品番70100）
- －マクファールランドスタンダード（品番70900）
- －APIWEB[®] 同定ソフトウェア（品番40011）（バイオメリュー社製）

※※器具

- －アピピペット（品番70250）
- －アンプルプロテクター（品番70901）
- －アンプル立て（品番70200）
- －微生物検査用器具

＜測定（操作）法＞

オキシダーゼ試験

オキシダーゼ試験は、試薬製造元の添付文書に従って実施します。得られた結果は成績記入用紙に記入され、21番目の試験項目として最終的なプロファイルに組み入れます。

コロニーの選択

ラピッド20は、腸内細菌科に特化した同定に使用されます。一般的にオキシダーゼ陰性、グラム陰性桿菌の試験に用いられます。

注意：本キットで腸内細菌科に属さない一部のグラム陰性桿菌及びオキシダーゼ陽性菌（*Aeromonas*及び*Vibrio*）を同定することができます。

プレートの準備

- ・ 培養容器のトレイと蓋を準備して下さい。トレイに水を加える必要はありません。
- ・ トレイのフラップ部分に、試験に用いる菌株の情報（検体番号等）を記載します（操作中に蓋がプレート間で入れ替わることがあるため、蓋に記入することは避けて下さい）。
- ・ 包装を開封してプレートを取り出します。
- ・ プレートを培養容器に入れます。

菌液の調製

- ・ 本添付文書中の“使用上または取扱い上の注意”で指示されている方法で0.85%滅菌生理食塩液2 mLのアンブルを開けます。バイオメリュー社製以外の滅菌精製水または0.85%滅菌生理食塩液（その他の成分を含有しないもの）2mLが入った試験管を使用することもできます。
 - ・ アピピペットを使って分離培地から単一なコロニーを1～4個釣菌します。釣菌するコロニーは、培養時間が18～24時間と短く若いものを使用して下さい。
 - ・ 良く懸濁し、マクファーランド濁度0.5の均一な菌懸濁液を作製します。調製した菌液は直ちに使用して下さい。
 - ・ 菌液を新しい培地に画線塗抹して下さい。
- 注意：ラピッド20で正しい結果を得るために、菌液はマクファーランド濁度0.5を厳守して調製して下さい。特に濁度がマクファーランド濁度0.5より薄い場合、偽陰性を示すことがあります。

プレートへの菌液接種

- ・ 上記と同じアピピペットを使って、プレートのチューブに菌液を接種して下さい。チューブ底部に気泡が形成されるのを避けるため、プレートを僅かに前方に傾けて、アピピペットの先をカップの側面に付けて操作します。
 - －CIT試験には、チューブ及びカップ下部に菌液2滴（約50 µL）を接種します。
 - －その他の試験は、チューブ部分にのみ菌液を接種します（約50 µL）。この際、正確に接種して下さい。接種量が不十分であったり過剰な場合、偽陰性や偽陽性の原因となります。
 - －下線の付いている試験項目（LDC、ODC及びURE）には、カップにミネラルオイルを重層して下さい。

- 培養容器に蓋をして、 $36 \pm 2^\circ\text{C}$ で4～4 1/2時間培養します。

【測定結果の判定法】

プレートの判定

- 培養後、“判定表”を参照してプレートを判定して下さい。
 - 全ての自発的反応（添加試薬を必要としない試験）を成績記入用紙に記入して下さい。発酵能試験において、酸生成初期に緑色を示すことがありますが、陽性反応として考慮して下さい。
 - 適切な添加試薬をVP試験及びIND試験に加えて判定を行います。
 - －VP試験：VP 1試薬及びVP 2試薬を1滴ずつ滴下し、5～10分静置します。赤色になれば陽性と判定し、結果を成績記入用紙に記録します。
 - －IND試験：JAMES試薬を1滴添加し、直後に判定して下さい。ピンク色になれば陽性と判定し、結果を成績記入用紙に記入します。
- 注意：結果の判定後、再度、培養容器に蓋をしないで下さい。

解析

同定はプロファイル番号を用いて行います。

- プロファイル番号の決定：

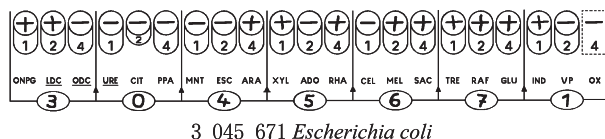
成績記入用紙上で、各試験項目は3つずつのグループに分けられ、各項目に1、2、4の数値が与えられています。グループ毎に陽性反応を示した数値が加算され、7桁のプロファイル番号が得られます。オキシダーゼ反応は21番目の試験として加え、陽性の場合は4が加算されます。

※※・ 同定：

専用データベース（V3.2）を使用して実施します。

* APIWEB® 同定ソフトウェアを用いる場合：

－コンピュータのキーボードを使って7桁のプロファイル番号を入力します。



low discriminationの場合は、さらに別の試験を実施することをお勧めします。同定ソフトウェアを参照して下さい。

■品質管理

本培地、プレート及び試薬は、各製造工程において体系的に品質管理が行われています。施設毎にプレートの品質管理を実施する場合は、

1. *Escherichia coli* ATCC® 11775™ または 下記の菌株の1つを使用することをお勧めします。

2. *Proteus hauseri****

ATCC® 13315™

3. *Klebsiella pneumoniae* ssp *pneumoniae*

ATCC® 35657™

ATCC : American Type Culture Collection, 10801 University Boulevard, Manassas, VA 20110-2209, USA.

	ONPG	LDC	ODC	URE	CIT	PPA	MNT	ESC	ARA	XYL	ADO	RHA	CEL	MEL	SAC	TRE	RAF	GLU	IND	VP
1.	+	+	+	-	-	-	-	-	+	-	-	+	-	+	-	+	-	+	+	-
2.	-	-	-	+	-	+	-	-	-	-*	-	-	-	-	+	-	-	+	+	-
3.	+	+	-	V	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+

* この結果は、分離培地によって変化することがあります。

** 弱陽性反応を示すことがあります。

*** ラピッド20プレートで*Proteus vulgaris* groupとして同定されます。

このプロファイルはBCP寒天培地（プロモクレゾールパープル乳糖寒天培地）を使用し、得られたものです。

各国の定める規則に従って、本キット使用者の責任のもとに品質管理を実施して下さい。

※【性能】

- 感度・正確性

標準試験菌株^{注)}を用いて、「用法・用量（操作方法）」欄に記載の方法に従って試験するとき、その同定結果は、用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。

- 同時再現性

標準試験菌株^{注)}を用いて、「用法・用量（操作方法）」欄に記載の方法に従って3回同時に試験をするとき、同定結果は3回とも用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。

注)標準試験菌株は、CLSI（NCCLS）が推奨するATCC株を主とし、本品の適応菌種である腸内細菌科の主要な菌種の中から選択します。

- 測定範囲

本品の使用は、ラピッド20のデータベースに含まれている菌種の同定に限られます。

※※＜相関＞

4時間培養後：

本データベースに属する保存菌株及び各種材料由来の菌株 2,365 株が検討されました：

－95.52%の菌株が正確に同定されました（追加試験を含む）。

－2.75%の菌株は同定不能でした。

－1.73%の菌株は誤同定でした。

【使用上または取扱い上の注意】

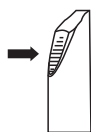
＜取扱い上（危険防止）の注意＞

- 体外診断用医薬品及び微生物制御検査用
- 微生物試験従事者が使用して下さい。

- 本キットには動物由来製品が含まれます。使用動物の由来や衛生状態は保証されていますが、これは感染性病原体による製品汚染がないことを完全に保証するものではありません。従ってこれらの製品は感染性を有するものとして扱い、飲込んだり吸い込んだりしないよう、通常の安全予防策を守って取り扱うことをお勧めします。
- 検査材料、細菌培養、および接種菌液はすべて感染性があるものとして、適切に取り扱う必要があります。検査全体を通じて、細菌を扱う際には無菌操作の実施と通常の注意を払う必要があります。この件に関しては、“CLSI® M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections ; Approved Guideline - Current revision*”を参照して下さい。使用上または取扱い上の注意の追加情報としては、“Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition”または各国で現在使用されている規程に準拠して下さい。

<使用上の注意>

- 使用期限を過ぎた試薬は使用しないで下さい。
- 使用する前に、各試験用試薬及び包装に破損がないことを確認して下さい。
- カップなどの変形が見られるプレートは使用しないで下さい。
- ※※ ● 以下の手順に従い、注意してアンプルを開けて下さい。
 - ーアンプルをアンプルプロテクターに差し込んで下さい。
 - ーアンプルプロテクターに入ったアンプルを片手で垂直に持って下さい（白色プラスチックキャップが上になるように立てます）。
 - ーキャップをできる限り下向に押します。
 - ーキャップの溝面部分に親指を置き、前に押出してアンプル先端部を折ります。
 - ーアンプルをアンプルプロテクターから取り出し、次の使用のため近くに置きます。
 - ーキャップを注意深く取り除きます。
- 添付文書に示されている相関データは、本書に記載された操作方法を用いて得られたものです。方法の変更や修正は、同定結果に影響する可能性があります。
- 試験結果の解釈は、患者の病歴、検査材料の由来、分離菌株のコロニー形態や鏡検像及び必要となった際に実施される他の検査結果（特に薬剤感受性パターンの結果）を考慮して行う必要があります。
- 期待値結果の範囲
各種生化学性状反応の期待値結果の範囲については本添付文書の最後に記載されている“陽性率表”を参照して下さい。



<廃棄上の注意>

使用後試薬、未使用試薬及び汚染された器具類は、感染の危険性があるものとして適切に廃棄して下さい。廃棄物や廃液の取扱いは、その種類や危険度に応じて適切な規程の元に各施設で責任を持って処理及び廃棄（外部専門業者に処理及び廃棄依頼）を行って下さい。

※【貯蔵方法・有効期間】

ラピッド20は、箱に記載された使用期限まで2～8℃で保存して下さい。有効期間は18ヶ月です。使用期限は、プレートのパッケージおよび外箱の  マークに記載してあります。

【包装単位】

25回用

【主要文献】

1. ALTWEGG M. Performance of Two Four-Hour Identification Systems with Atypical Strains of *Enterobacteriaceae*. (1983) Eur. J. Clin. Microbiol., 2, 529-533.
2. APPELBAUM P.C., JACOBS M.R., BUICK M.K., FLANAGAN M.M., GYMER G.A. Evaluation of the Micro-ID, the API 20 E and the RapiD 20 E for Same-Day Identification of *Enterobacteriaceae*. (1985) Eur. J. Clin. Microbiol., 4, 498-501.
3. MOUNIER M., DENIS F. Four-Hour Direct Identification of *Enterobacteriaceae* in Blood Cultures. (1983) Eur. J. Clin. Microbiol., 2, 593-595.
4. IZARD D., HUSSON M.O., VINCENT P., LECLERC H., MONGET D., BOEUFGRAS J.M. Evaluation of the Four-Hour RapiD 20 E System for Identification of Members of the Family *Enterobacteriaceae*. (1984) J. Clin. Microbiol., 20, 51-54.
5. KEVILLE M.W., DOERN G.V. Evaluation of the DMS RapiD E System for the Identification of Clinical Isolates of the Family *Enterobacteriaceae*. (1984) J. Clin. Microbiol., 20, 1010-1011.
6. MURRAY P.R., BARON E.J., JORGENSEN J.H., PFALLER M.A., YOLKEN R.H. Manual of Clinical Microbiology. 8th Edition. (2003) American Society for Microbiology, Washington, D.C.
7. MURRAY P.R., GAUTHIER A., NILES A. Evaluation of the Quantum II and RapiD E Identification Systems. (1984) J. Clin. Microbiol., 20, 509-514.
8. REYNAUD A.E., COUDE DU FORESTO B., COURTIEU A.L. Etude Comparative de Diverses Galeries API pour l'Identification des Bactéries à Gram Négatif. (1988) Ann. Biol. Clin., 46, 259-262.
9. THOMAS B., GAYRAL J.P., MONGET D. A new 4-hour Identification System for *Enterobacteriaceae* : RapiD 20 E. (1982) XIII Intern. Congress of Microbiol., Boston MA.

【問い合わせ先】

シスメックス株式会社 CSセンター

〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目3番地の2

TEL 0120-265-034

シスメックス・バイオメリユー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー8階

TEL 03-6834-2666（代表）

【製造販売業者の氏名または名称及び住所】

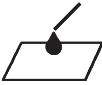
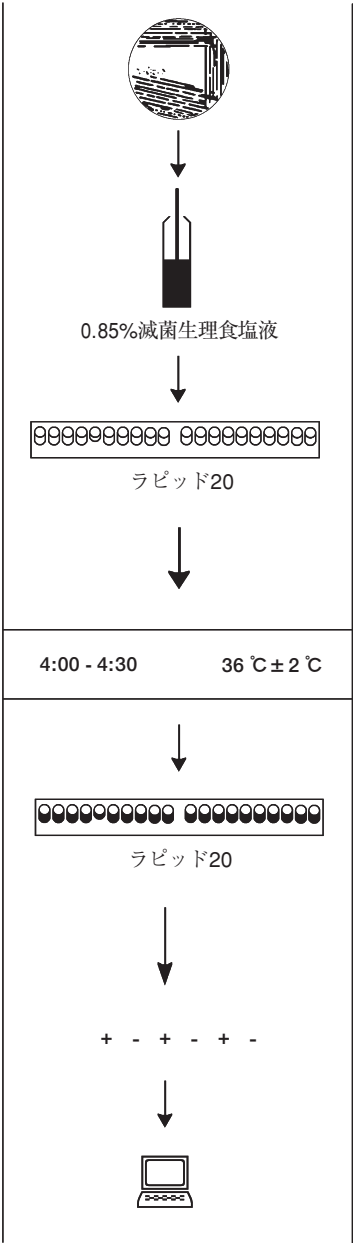
シスメックス・バイオメリユー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー8階

※※ * 本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://products.sysmex-biomerieux.net/>

操作手順



OX- (オキシダーゼ陰性)

菌液調製

マクファーランド濁度0.5



CIT以外の項目

CIT

LDC - ODC - URE
ミネラルオイルの重層



添加試薬

VP : VP 1試薬 + VP 2試薬

IND : JAMES試薬

判定

同定

APIWEB®を用いて行う。

■判定表

テスト項目	基質	反応/酵素	結果	
			陰性	陽性
ONPG	o-ニトロフェニル-β-D-ガラクトピラノシド	β-D- ガラクトシダーゼ (o-ニトロフェニル-β-D- ガラクトピラノシダーゼ)	無色	淡い黄色～明るい黄色
<u>LDC</u>	塩酸リジン	リジンデカルボキシラーゼ	黄緑色～青灰色	青色～青紫色
<u>ODC</u>	L-オルニチン	オルニチンデカルボキシラーゼ	黄緑色～青灰色	青色～青紫色
<u>URE</u>	尿素	ウレアーゼ	黄色	ピンク色/ピンク紫色
CIT	クエン酸ナトリウム	クエン酸利用	黄色～黄緑色	緑色～青色
PPA	L-フェニルアラニン	p-フェニルアラニンデアミナーゼ	無色	オレンジ色～茶色
MNT	マロン酸ナトリウム	マロン酸利用	黄色	緑色～青色
ESC	エスクリン	β-グルコシダーゼ(エスクリン)	無色	灰色～黒色
ARA	L-アラビノース	酸性化(アラビノース)	青色	緑色～黄色
XYL	D-キシロース	酸性化(キシロース)	青色	緑色～黄色
ADO	D-アドニット	酸性化(アドニトール)	青色	緑色～黄色
RHA	L-ラムノース	酸性化(ラムノース)	青色	緑色～黄色
CEL	D-セロビオース	酸性化(セロビオース)	青色	緑色～黄色
MEL	D-メリビオース	酸性化(メルビオース)	青色	緑色～黄色
SAC	白糖	酸性化(サッカロース)	青色	緑色～黄色
TRE	D-トレハロース	酸性化(トレハロース)	青色	緑色～黄色
RAF	D-ラフィノース	酸性化(ラフィノース)	青色	緑色～黄色
GLU	ブドウ糖	酸性化(グルコース)	青色	緑色～黄色
IND	L-トリプトファン	インドール産生	JAMES試薬 / 直後判定 淡い緑色～黄色 ピンク色	
VP	ピルビン酸ナトリウム	アセトイン産生 (Voges-Proskauer)	VP1試薬 + VP2試薬 / 5-10分後判定 無色 赤色	
OX	(添付文書中のオキシダーゼ試験参照)	チトクロムオキシダーゼ	(添付文書中のオキシダーゼ試験参照)	

陽性率表 (36±2℃、4 ~ 4 ½ 時間培養、単位%)



RapiD 20 E™	V3.2	ONPG	LDC	ODC	URE	CIT	PPA	MNT	ESC	ARA	XYL	ADO	RHA	CEL	MEL	SAC	TRE	RAF	GLU
<i>Acti.Pseudomonas</i> spp	0	2	0	0	65	2	2	0	39	41	0	0	0	19	2	0	0	0	36
<i>Aer.hydrophila</i>	92	19	0	0	41	1	0	26	26	1	0	8	41	1	96	99	0	98	
<i>Buttiaux.agrestis</i>	100	0	54	0	66	0	89	99	97	89	0	89	100	89	0	97	75	100	
<i>Cedecea</i> spp	69	0	34	0	83	0	73	38	1	26	0	0	76	0	65	96	0	99	
<i>Citro.ama.flarmeri</i>	89	0	92	1	60	0	1	70	97	91	0	99	99	5	4	99	1	100	
<i>Citro.freundli</i> group	86	0	30	0	50	0	10	4	92	94	1	88	24	62	60	97	46	100	
<i>Citro.koseri</i>	96	0	99	0	99	0	75	53	96	94	99	99	94	0	38	99	0	100	
<i>Edwardsiel.hoshinae</i>	0	100	100	0	3	0	33	0	3	0	0	0	0	0	99	100	0	100	
<i>Edwardsiel.tarda</i>	0	100	100	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	
<i>Ent.aerogenes</i>	100	99	99	1	95	0	90	99	99	99	98	99	98	99	85	99	99	98	100
<i>Ent.asburiae</i>	100	0	92	0	13	0	0	96	100	100	0	0	98	0	100	100	66	100	
<i>Ent.cancerogenus</i>	100	1	55	1	97	0	99	70	100	98	0	98	55	1	5	100	1	100	
<i>Ent.cloacae</i>	99	2	87	1	95	0	71	51	99	84	25	81	98	79	88	99	81	100	
<i>Ent.gergoviae</i>	90	85	100	80	68	0	99	99	99	75	2	97	1	90	99	85	75	100	
<i>Esch.coli</i> 1	96	82	57	3	0	0	1	2	79	66	7	70	2	59	30	76	23	100	
<i>Esch.coli</i> 2	10	41	22	2	2	0	1	1	70	70	8	33	1	14	5	88	8	100	
<i>Esch.fergusonii</i>	87	95	96	0	0	0	0	0	52	87	57	61	87	0	0	74	0	100	
<i>Esch.hermannii</i>	75	0	100	0	25	0	0	14	100	87	0	87	99	0	1	99	0	100	
<i>Esch.vulnerts</i>	100	74	33	0	8	0	74	11	91	82	16	16	83	83	0	99	83	100	
<i>Ewingella.americana</i>	90	0	0	0	95	0	0	40	0	1	0	1	10	0	0	100	0	100	
<i>Grimontia.hollisae</i>	9	0	0	4	0	0	0	0	65	0	0	0	4	0	0	4	0	96	
<i>Hafnia.alvei</i>	25	98	93	1	5	0	35	24	46	26	0	19	1	1	5	95	1	100	
<i>K.oxytoca</i>	100	98	1	58	73	0	46	99	99	95	93	97	100	99	100	98	100	100	
<i>K.pneum.ozanae</i>	95	23	1	1	65	0	3	88	67	62	95	35	55	75	10	88	66	99	
<i>K.pneum.pneumoniae</i>	96	84	1	65	97	0	70	99	94	98	90	100	100	94	99	100	100	100	
<i>K.pneum.rhinosclero</i>	0	0	0	0	1	0	98	50	90	90	90	90	50	50	50	92	89	99	
<i>Kluyvera</i> spp	80	70	90	0	50	0	83	85	90	50	0	50	85	80	60	100	95	98	
<i>Lecli.adecarboxylata</i>	100	0	0	0	27	0	99	100	100	100	79	99	100	100	55	98	58	98	
<i>Moell.wisconsinensis</i>	75	0	0	0	100	0	0	0	0	0	100	0	0	100	100	0	100	100	
<i>Morg.morganii</i>	1	5	95	98	1	83	1	0	1	1	0	0	0	0	0	27	0	97	
<i>Pantoea</i> spp 1	99	0	0	3	40	0	96	85	96	87	12	44	99	96	1	96	13	100	
<i>Pantoea</i> spp 2	99	0	0	0	80	0	76	66	99	92	4	83	90	42	98	99	47	100	
<i>Pantoea</i> spp 3	70	0	0	0	35	0	8	28	71	15	0	16	3	0	84	96	4	99	
<i>Photo.damslae</i>	11	50	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	56	11	99	
<i>Plesio.shigelloides</i>	100	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	99	0	99	
<i>Proteus mirabilis</i>	0	2	96	98	44	99	1	6	1	24	0	1	1	0	1	85	1	98	
<i>Proteus penneri</i>	1	0	0	100	0	100	0	0	0	4	0	0	0	0	75	2	1	83	
<i>Proteus vulgaris</i> gr.	1	0	0	98	8	99	0	64	1	5	0	1	0	0	89	1	1	97	
<i>Prov.alcalifaciens</i>	1	0	1	0	83	97	0	0	1	1	75	0	1	0	3	2	1	100	
<i>Prov.rettgeri</i>	2	0	0	99	73	99	0	60	1	1	87	29	0	1	26	1	1	99	
<i>Prov.stuartii</i>	2	0	0	34	67	96	0	5	1	1	1	0	1	0	13	96	1	98	
<i>Raou.omithinolytica</i>	100	88	100	45	100	0	100	100	100	100	88	99	91	100	100	100	100	100	
<i>Salm.paratyphi</i> A	0	0	91	0	11	0	0	0	99	11	0	98	0	7	0	99	0	100	
<i>Salm.typhi</i>	0	99	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	30	0	70	0	99	
<i>Salm.enter.arizonae</i>	92	99	92	0	85	0	93	0	82	99	0	98	0	23	0	84	0	100	
<i>Salm.enter.enterica</i>	0	99	92	0	7	0	0	0	8	39	0	69	0	5	0	28	0	100	
<i>Salmonella</i> spp	2	99	99	0	83	0	1	0	93	69	0	92	2	53	3	94	2	100	
<i>Ser.ficaria</i>	82	0	0	0	100	0	0	100	55	0	0	0	0	0	95	96	0	100	
<i>Ser.fonticola</i>	100	75	99	1	40	0	98	99	90	51	97	55	1	98	20	99	98	100	
<i>Ser.liquefaciens</i>	88	76	94	1	66	0	1	84	47	26	3	1	10	23	97	99	74	100	
<i>Ser.marcescens</i>	57	98	99	1	82	2	0	83	0	2	25	0	0	1	96	99	2	100	
<i>Ser.odorifera</i> 1	90	97	81	1	90	0	0	98	66	66	1	5	75	91	100	99	99	100	
<i>Ser.odorifera</i> 2	90	97	5	0	90	0	0	5	66	66	1	5	15	60	0	99	11	100	
<i>Ser.plymuthica</i>	97	0	0	0	70	0	1	77	50	30	0	0	40	15	100	96	30	90	
<i>Ser.rubidaea</i>	98	73	0	1	81	0	47	99	73	73	92	1	2	92	99	99	99	100	
<i>Shigella sonnei</i>	82	0	99	0	0	0	0	0	99	6	0	65	0	1	0	99	2	100	
<i>Shigella</i> spp	1	0	0	0	1	0	0	0	18	1	0	3	0	1	0	60	0	95	
<i>V.alginolyticus</i>	1	1	0	0	1	0	0	7	0	0	0	0	1	0	98	92	0	82	
<i>V.cholerae</i>	95	89	80	1	72	1	1	0	3	10	0	0	0	0	100	70	0	100	
<i>V.fluvialis</i>	40	0	0	0	16	0	0	3	93	0	0	0	30	1	100	100	0	100	
<i>V.parahaemolyticus</i>	0	2	2	4	14	40	0	0	84	0	0	0	0	0	0	99	0	100	
<i>V.vulnificus</i>	73	2	1	1	13	13	0	5	1	0	0	0	73	1	7	80	1	73	
<i>Y.enterocolitica</i>	65	0	77	85	1	0	0	31	40	30	0	1	31	1	70	61	7	98	
<i>Y.pestis</i>	61	0	0	1	0	0	0	99	1	1	0	1	0	1	0	1	0	100	
<i>Y.pseudotuberculosis</i>	61	0	0	99	1	0	0	98	1	1	0	10	1	1	0	1	1	98	

IND	VP	OX
0	0	19
99	59	100
0	0	0
0	34	0
99	0	0
1	0	0
99	0	0
85	0	0
99	0	0
0	94	0
0	13	0
0	96	0
1	81	0
0	75	0
91	0	0
96	0	0
100	0	0
100	0	0
0	0	0
0	80	0
100	0	100
0	15	0
100	94	0
0	1	0
0	95	0
0	0	0
81	4	0
98	0	0
0	0	0
98	1	0
71	1	0
28	47	0
4	50	0
0	0	94
100	0	100
1	15	0
0	0	0
90	1	0
99	0	0
98	0	0
83	0	0
100	55	0
0	0	0
0	1	0
0	0	0
0	0	0
1	0	0
0	3	0
0	1	0
0	70	0
1	72	0
66	11	0
66	60	0
1	18	0
0	89	0
0	0	0
24	0	0
92	0	98
98	70	100
13	0	100
99	0	100
73	0	100
41	1	0
0	0	0
0	0	0

製造販売元 シスメックス・ビオメリュー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー8階

